

主日礼拝

2026年3月15日 10時20分～

司式:

奏楽:

「真っ白に輝く」

『出エジプト記』では「シナイ契約」が結ばれた後、主なる神が山の上へとモーセを招かれます。山の上で「律法と戒めを書き記した石の板をあなたに授ける」と言われたのです。モーセは麓に民を残して、従者ヨシュアを伴い山の上へ登ると、雲が山を覆います。雲は神の臨在を示す象徴です。雲は六日間にわたって山を覆い、七日目に主がモーセに呼びかけられます。創世記においても、神は六日の間に天地を創造され、七日目に安息日を定められました。その安息日は天地創造の御業を記念して、神を崇める日とされたのです。ここでも神は新しい御業に備える六日間と、新しいことを始める七日目をもたらされたのでした。麓にいた民は、山の頂が火で焼かれるかのように光を放っているのを見ます。

『マルコによる福音書』では、フィリポ・カイサリアで、主イエスが弟子たちに受難による死と復活を予告されてから「六日の後」にペトロ、ヤコブ、ヨハネを連れて高い山の上に登られます。すると主イエスの姿が変わり、衣は真っ白に輝いたのです。それこそ神の子の栄光のお姿でした。モーセとエリヤも現れ、光り輝く主イエスと語り合います。これから主イエスが受けられる受難と復活によって救いが成し遂げられることについて、語り合われていたのでしょう。弟子たちはそのお姿をずっと見ていたかったのですが、雲が彼らを覆い、父なる神の御声が聞こえた後、主イエスは元のお姿に戻っておられました。そして主は山を下って行かれるのです。

《神の招き》

前 奏 『おおイエスよ、汝のおもごしは如何に』 J. S. バッハ
 招 詞 イザヤ書11章10節
 賛 美 歌 55

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
 聖 書 出エジプト記24章12～18節 (旧約124頁)
 マルコによる福音書9章2～10節 (新約 77頁)

子ども説教
 交 読 詩 編 詩編27編7～14節 (32頁)
 賛 美 歌 292
 説 教 「真っ白に輝く」 八木浩史牧師
 祈 禱
 賛 美 歌 285

《感謝の応答》

信 仰 告 白 使徒信条
 献 金
 祈 禱 献金当番
 主 の 祈 り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派 遣》

頌 栄 25
 祝 福
 報 告
 後 奏

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
 音響: 映像: